

学校開放事業使用登録申請書

令和 年 月 日

帯広市教育委員会教育長 様

	団体名：
	(ふりがな)：
申請者	代表者氏名：
	〒 -
	住所：
	電話：
	E m a i l：

次のとおり学校開放事業使用登録したいので申請します。

使用種目		構成 人員	市内在住・在勤・在学 _____ 人
使用責任者名			その他(市外など) _____ 人
			計 0 人
住所・ 電話番号	〒 - (電話:)		
使用予定学校	学校		
有効期間	令和7年5月1日 ~ 令和8年4月30日		
備考		登録 番号	No.

※帯広市暴力団排除条例第7条により、施設の使用が暴力団の活動を助長し、又はその運営に資すると認めるときは、当施設の使用の許可をしません。

また、当施設の使用の許可をした後において、施設の使用が暴力団の活動を助長し、又はその運営に資すると認めるときは、当施設の使用を停止させ、又は当施設の使用の許可を取

なお、使用者等が暴力団員でないことを確認するため、市が必要に応じて本書を関係機関に提供することがあります。

< 団体使用者名簿 >

※使用者全員の名前を記入（足りない場合はコピーしてください）
 ※「使用区分」について市内在住・在勤・在学以外の方はその他に○を記入してください。

	氏名	指導者チェック欄 (指導者の場合○を記入)	使用区分	備考
1			市内（在住・在勤・在学）・その他	
2			市内（在住・在勤・在学）・その他	
3			市内（在住・在勤・在学）・その他	
4			市内（在住・在勤・在学）・その他	
5			市内（在住・在勤・在学）・その他	
6			市内（在住・在勤・在学）・その他	
7			市内（在住・在勤・在学）・その他	
8			市内（在住・在勤・在学）・その他	
9			市内（在住・在勤・在学）・その他	
10			市内（在住・在勤・在学）・その他	
11			市内（在住・在勤・在学）・その他	
12			市内（在住・在勤・在学）・その他	
13			市内（在住・在勤・在学）・その他	
14			市内（在住・在勤・在学）・その他	
15			市内（在住・在勤・在学）・その他	
16			市内（在住・在勤・在学）・その他	
17			市内（在住・在勤・在学）・その他	
18			市内（在住・在勤・在学）・その他	
19			市内（在住・在勤・在学）・その他	
20			市内（在住・在勤・在学）・その他	

以下は、該当するものに○をつけてください。

(1) 市内転入者等への団体の紹介について	1. 初心者へ紹介してもよい。
	2. 経験者へ紹介してもよい。
	3. 紹介してほしくない。
※(1)でよいと答えた団体のみ回答	
(2) チームの平均年齢層について	・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代以上

学校施設を使用する際は以下のすべての事項を遵守することを誓います。

- ・「学校開放事業の管理運営に関する規則」等、学校開放の決まりを遵守します。
- ・使用する学校施設及備品等を責任を持って管理します。
- ・学校内の教材や展示物には十分に注意を払います。
- ・施設等の破損等防止に十分注意し、使用中に起きた一切の事故については使用者が責任を負い、損害額を賠償いたします。
- ・開放員の指示に従います。

令和7年 月 日 申請者